

解答・解答例と解説・関連事項

問題番号			解答・解答例	解説と関連事項	配点
1	1	(1)	ウ	赤道の位置は、「アフリカ大陸」「南アメリカ大陸」と、東南アジアの地図で必ず確認しておこう	1
		(2)	D	気温は最高で20℃、最低でも5℃程度と普通なので「温帯」であろうと考えられる。降水量は年間を通して変化が少ない。ということは「西岸海洋性気候」の雨温図であることが分かる。Aの北海道は「冷帯」であるし、Bのオーストラリア大陸の内陸部は「乾燥帯」、Cは「熱帯」である。	2
		(3)	環太平洋造山帯	造山帯には、この他に「アルプス・ヒマラヤ造山帯」がある。	2
	2		エ	産出量にも、日本の輸入割合の中にも中東（西アジア）の国々が多いことから、原油と判断できる。	2
	3		ウ	Aは、4か国の農林水産業活動人口を合計しても中国が大幅に多いので間違い。イで、穀物自給率が最も高いのはカナダであるので間違い。エでは、カナダが国土面積が大きいのに、農地面積は大幅に小さいので、間違い。	2
	2	1	(1)	国権	日本国憲法に定められている国会は“国権”の最高機関で、国の“唯一の立法機関”は重要。
(2)			A	イの弾劾裁判は国会のこと。ウの違憲審査は裁判所のこと。エは日本銀行のこと。	2
(3)			社会保険		2
(4)			A、エ	「新しい人権」は、「環境権」「知る権利」「プライバシーの権利」「自己決定権」がある。	2
2			〔例〕一票の価値の格差を是正するため。 〔例〕地域によって違う一票の重みの差を縮めるため。	2012年のデータでは、高知と千葉の差が2倍を超えているが、2014年ではその差が縮まっていることに着目したい。	2

問題番号			解答・解答例	解説と関連事項	配点
3	1		イ	大和政権時には、後に天皇と呼ばれるようになる大王が支配者であった。	1
	2		エ	「庸」はもともとは兵役であったが、後に布を納めることで兵役にかえることができるようになった。	2
	3		承久の乱	1221年の「承久の乱」は、源氏の将軍が3代で絶え、「執権政治」によって北条氏が実権を握ったことに対して、後鳥羽上皇が、それならば朝廷に政権を返してもらおうと起こした反乱。この反乱に敗れた後鳥羽上皇は隠岐に流された。	2
	4		ア	イの奥州藤原氏は、源頼朝によって滅ぼされたので、平安時代末のこと。 ウは遣唐使が行われている、エは遣唐使廃止後の、ともに平安時代のこと。	2
	5		大阪（大坂）		2
4	1	(1)	イ	アの沖ノ鳥島は日本の最南端、エの与那国島は日本の最西端の島。ウの国後島は択捉島と同じ北方領土の島の一つ。	1
		(2)	やませ		1
		(3)	D	「シラス台地」とか、養豚などからDの鹿児島県と分かる。Aは山形県、Bは神奈川県、Cは石川県をそれぞれ指している。	1
		(4)	エ	aは人口が最も多いので関東と分かる。dは面積が最も大きいことから北海道と分かる。中部地方と中国・四国では、中部の人口が多いので、cが中部と分かる。	1
	2		[例] 火力発電に使われる燃料の輸送の大部分は、船によって行われているから。 [例] 火力発電の燃料を海外から船で輸送してくるから。	火力発電の燃料の中心は石油、石炭、天然ガス。タンカーなどで運んでくるので臨海部に多く見られる。これは火力発電に限らず、工場地域が臨海部に見られるのも、原料の輸入や、機械類などの輸出を船で行うことが多いからである。	3

問題番号		解答・解答例	解説と関連事項	配点
5	1	ウ	アについては、「安全性」は83%ほどで90%を超えていないので間違い。イでは、「広告」は66%ほどで70%を超えていないので間違い。エについては、例えば「広告」の項目にしても、「常に意識する」より「ほとんど・全く意識しない」の方が割合が高いので間違い。	1
	2	イ	不景気の場合に、政府は好景気になるような政策を行う。一般的には、市場の“資金”を増やす。国民が資金を持つようにすれば、その資金を使うことで好景気になるわけだから、“減税”をして消費を促すのである。好景気の場合は、これとは逆の政策を行う。	1
	3	ウ	Xについては、常任理事国（アメリカ・フランス・イギリス・中国・ロシア）を足すと40.36となり、50%に満たないので「誤」。Yについては、EU加盟国（ドイツ・フランス・イギリス・イタリア・スペイン）を足すと25.33となり、20%を超えているので「正」となる。	2
	4	〔例〕歳出が税収を上回っている状態が続いており、税収の不足を補うために、国債を発行してきたから。	歳出が増え続ける一方で、収入（歳入）の柱になる税収は減少している。その税収の減収を補うように国債が発行されていることを読みとれるとよい。	3

問題番号			解答・解答例	解説と関連事項	配点
6	1		ウ	アの名誉革命は1688年のこと。イの辛亥革命は1911年のこと。エの甲午農民戦争は日清戦争のきっかけとなったできごとで、1894年のこと。この年号を覚えていなくても、江戸幕末に異国船打払令が出されたあと、アヘン戦争（1840年）の結果から、薪水給与令に切り換えられたことを覚えていれば答えられる問題。ちなみに、アヘン戦争の時期に行われていた改革が水野忠邦による“天保の改革”であった。	1
	2		ア	明治維新での改革の年号は、版籍奉還（1869年）、廃藩置県（1871年）、学制（1872年）、徴兵令（1873年）、地租改正（1873年）。ちなみに、問題文には“学制の公布”とあるが、公布は間違いで“発布”とするのが正しい。	1
	3		イ	アの世界恐慌は1929年のこと。ウの韓国併合は1910年のこと。エの日露戦争は1904年のこと。年号を覚えていなくても、米騒動がシベリア出兵をあてこんだ米商人による米の買い占め、それにともなう米価の高騰から始まったことを理解しておくといよい。ちなみに、この時期に首相となったのが原敬であった。	2
	4		〔例〕軍部の政治的発言力が強まった。 〔例〕軍部が政治の中心になっていった。	大臣などが軍部の意向にそわないと殺傷されたのが二・二六事件。なので、これ以降は、軍部の意向にそう人たちが政治の中心となったのである。	2
	5		エ → ア → ウ → イ	エのサンフランシスコ平和条約は、戦後の早い時期に日本が独立を果たしたできごと。アとウについては、高度経済成長期（ア）があり、それが石油危機で終わった（ウ）ことを考えると、並べ替えができる。	2